

コミュニティFM の役割



5年目を迎えて



有

線放送やオフトーク通信に替わり、新たに行政情報や災害情報を伝える手段として平成28年4月にそおグッドFMが開局。今年で5年目を迎えました。朝・昼・夜の定時放送や災害時の臨時放送で行政からの情報を伝えるとともに、コミュニティFMとして市民生活に密着した放送を行っています。

そおグッドFMは朝6時30分から夜9時まで一日14時間半を全て生放送で行っています。『コミュニティFMは生放送であるべき』とこだわり、録音放送や他局から番組の購入などはせずに開局当初から生の声を届けています。

「生放送を行うからこそ身近に感じてもらえると思っています。その日の天気や時間、パーソナリティーが感じたことなどをすぐに発信することができ、より地域に密着した情報を届けることができます。災害時にもすぐ対応して災害情報を伝えられるのも生放送だからできることです」

災害時にラジオが避難先などで不安な人の心のよりどころとなればと中山さんは話します。

「コミュニティFMは一方的に発信するだけでなく、ラジオを聞く市民からの情報も入る双方向の情報媒体です。多くの市民と関わりながら、まちづくりを担う情報媒体として、役立つ情報、喜んでもらえる情報を届けていきます」

5年目を迎えたそおグッドFMは徐々にリクエストが増え、交流も広がっているそう。これからも市民に身近に感じてもらえるFMを目指し、市民の声に寄り添った放送を届けていきたい、と中山さんは話します。そおグッドFMの今後に期待できそうです。



(一財) まちづくり曾於
代表理事 中山 浩二さん



各 世帯に一個ずつ配布している防災ラジオは、そおグットFMを通して災害時に避難情報や緊急情報などを伝えています。

「災害時に市民へ避難情報などを伝える手段としては、防災ラジオのほかにエリアメール、ホームページ、SNS、曾於市安心安全メールがあります。媒体によっては文字数に制限があるものもありますが、防災ラジオは音声情報ですので、制限なく伝えたい時に伝えたい内容をより詳しく放送することができます。また必要な時には繰り返し伝えることができます」

災害時に行う臨時放送は、防災ラジオの電源が自動で入り、放送が流れる仕組みになっています。台風や大雨、地震などの避難情報や、火事の発生などもこの『臨時放送』によって放送しています。

「臨時放送では災害時の取るべき行動など、市民に知ってほしい大切な



総務課 防災係
南 有紀さん

情報を伝えています」

そうした情報も防災ラジオが聞ける状態でないとい手できません。

「普段からラジオの電源コードをつないでよく聞こえる場所に置いて欲しいですね。また非常時や停電に備えて単三電池を準備しておくことも大事です」

災 害が起きてから準備をするのでは初手が遅くなってしまう。

いつ災害は発生しても臨時放送からの情報が入るように備えておくことが自分や家族の命を守ることにつながります。

災害対策にまずはラジオを箱から出してコンセントにつなぐことから始めてみては。

防災ラジオ をチェックする

ラジオの調子がおかしい・聴こえないなど
企画課 ☎ 0986-76-8802 まで



選局

地域によってはほかの放送局も聴くことができます。行政放送・臨時放送時は、他の局を聴いていても自動でFMそおに切り替わります。

音量

行政放送も臨時放送も音量調整つまみに合わせて放送されます。地震発生時などの緊急放送はつまみの位置に関係なく最大音量で放送されます。

電源ランプ（緑）

コンセントだけにつながっていると点滅になりますが、問題ありません。電池と両方入っていると点灯になります。

受信ランプ（赤）

点滅している場合は受信状態が良くありません。アンテナを調整したり点灯する場所まで移動するなどしてください。



有

線放送から移行し、今はラジオから流れている「行政放送」。

市からのお知らせをメインに、イベントや募集情報なども放送しています。

「行政放送は、ラジオの電源が自動で入って流れるので市民みんなが聞くもの。なので、原稿を読み上げているパーソナリティもみんな緊張感をもって読んでいます」

そう話してくれたのは、大隅町の有線放送から「行政放送」に携わっている牧之瀬和子さん。なんと今年で27年目になるそうで、その声を聴けば多くのひとが「有線放送の人だ」と思うのではないだろうか。



パーソナリティ
牧之瀬 和子さん

牧

之瀬さんは、行政から送られてきた原稿すべてに目を通し、より内容が市民に伝わりやすいよう、またパーソナリティが読みやすいように書き換えています。

「硬すぎると耳に入ってこないのだから、柔らかく伝わるよう、そしてわかりやすくしています。例えば、午後1時から：って書いてあっても、聞いている人には『午後7時かな？』って聞こえてしまうかもしれない。なので、午後1時はお昼1時に、午後7時は夜7時、と伝えています」

こうした細やかな原稿の修正をしてから、パーソナリティの元へ。多くの人に情報が届いて欲しい、その想いがこの「行政放送」にも詰まっています。



03

お店をPRする

そおグッドFMでは「Club SOO Good」に加盟しているお店のレポートやCMなどPRを行う広告事業も展開しています。



山下生花種苗店 (末吉町)
山下 祐二さん

創業55年の山下生花種苗店を営む山下さんは、開局当初からClub SOO Goodに加盟してい

ます。「今では月に一度、取材に来てもらい割引情報などを放送してもらっています」と山下さん。放送を聞いて財部町や大隅町からもお客さんが来てくれるそうです。

「ラジオを通じてお店を覚えてもらい、今すぐでなくても必要になった時に来てもらいたい。そのために加盟店を続けています」

福岡県のレコード店で働いていた経験があるほど音楽好きの山下さんは毎月第2火曜日、午後8時から『題名のない音楽散歩』に出演中。番組ではなつかしい邦楽と洋楽を掘り起こして紹介しています。

ほっかほっか弁当 (大隅町)
小河 義登さん



小河さんは東京の一流料亭などで板前をしていましたが、13年前に奥さんの実家であった

「ほっかほっか弁当」を継ぎ、美味しいと評判のお弁当屋さんです。

そおグッドFMの加盟店になったのは2年ほど前。「前から地元の情報を伝える良い番組が多いと思ってました。情報というのは経営者にとって一番重要ですから。お声がけもらって加盟店になりました」

今年7月の土用丑の日にはFMでほっかほっか弁当のうな重の美味しさを話したこともきっかけとなり、用意していた450食以上が完売しました。

「地元の方が『ラジオ聞いたよ』と来てくださってありがたいですね」と話してくれました。



コミュニティFMの基本は「外に出ること」。そおグッドFMの壁にも『情報は事務所にはない。外にどんどん出ていくこと』の文字が掲げられています。

「外に出て得た情報をラジオで話す、それを聴いた人がメッセージをくれる。そのキャッチボールが嬉しいんです。コミュニケーションが生まれるから『コミュニティFM』なのだと思います」と、取材の中で牧之瀬さんが話してくれました。

ラジオを聴く、ラジオを話題にする、ゲストとして出る、曲をリクエストする、メッセージを送る、パーソナリティに町で声をかける、加盟店に行く……そのすべてが「コミュニケーション」で、それはFMを通して生まれています。

知ってもらい、そして曾於市を好きになってもらう。毎日14時間半の生放送を積み重ね、そおグッドFMは「地域」を伝えています。



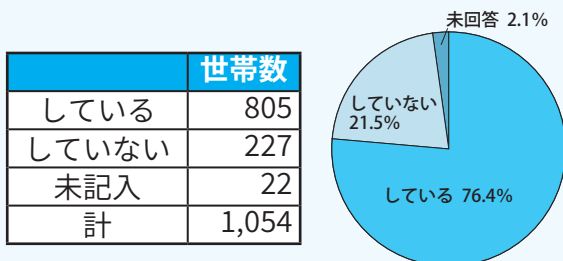
そおグッドFMについて 市民からの声

「コミュニティFM」の聴取市民意識調査を対象に行いました。その調査結果から傾向をお伝えします。回答にご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

調査期間：令和2年4月24日から5月27日まで
調査方法：郵送によるアンケート調査

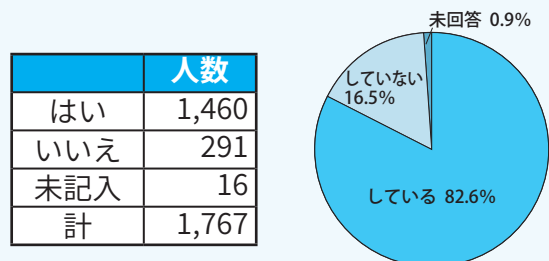
調査対象者：曾於市内の満20歳以上の男女3,000世帯
回答件数（世帯数）：1,054件（回答率：35.1%）
回答者数（世帯員数）：1,767人

01 防災ラジオをコンセントに繋ぎ行政放送や緊急放送が聴こえるようにしていますか



推計として全世帯数の5分の1約2割が「していない」ことになる。

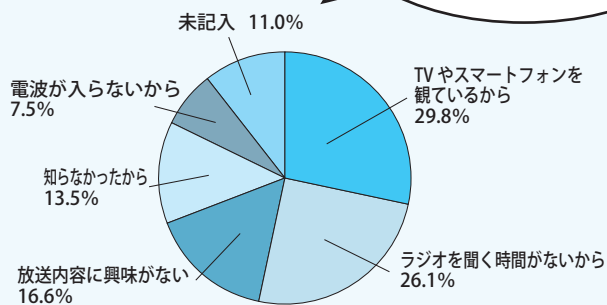
02 そおグッドFMの放送を聴いたことがありますか。



推計として全市民の約6,000人が聴いていないことになる。

03 そおグッドFMを聴いたことがない理由は何ですか。

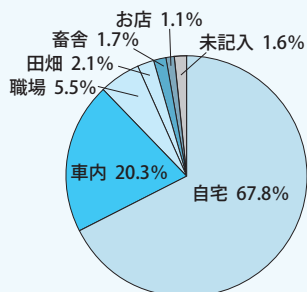
理由	件数
TV やスマートフォンを観ているから	128
ラジオを聴く時間がないから	112
放送内容に興味がない	71
知らなかったから	58
電波が入らないから	32
未記入	47



「テレビやスマートフォンを観ているから」が最も多く「ラジオを聴く時間がないから」という理由と合わせると半分以上になる。

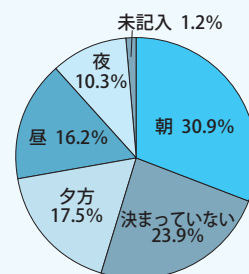
04 どこで聴いていますか。

場所	人数
自宅	1,156
車内	346
職場	93
田畑	35
畜舎	29
お店	19
未記入	28



05 よく聴くのはいつですか。

時間帯	人数
朝	614
決まっていない	475
夕方	347
昼	321
夜	204
未記入	24



06 よく聴く番組は何ですか。

- ・「Soo Good Morning」「演歌 DE SOO」「今日もテゲテゲ」の番組が上位を占めている。
- ・特に「Soo Good Morning」は年齢層が幅広く聴いている。
- ・「演歌 DE SOO」は60代以上の市民が多く聴いている傾向にある。

順位	番組名	件数	割合	放送時間
1	Soo Good Morning	253	14.6%	月曜～金曜 6時30分～8時
2	演歌 DE SOO	213	12.3%	月曜～金曜 13時～15時
3	今日もテゲテゲ！	136	7.9%	月曜～木曜 18時～19時
4	Soo Good Night！	88	5.1%	月曜～金曜 19時～21時
5	ミュージック・ランド	84	4.9%	月曜～金曜 9時～10時／16時～17時

07 主要要望・意見について

- 人＜ 定時の行政放送は録音でもよいのではないかと。
- 人＜ 朝のナレーションは女性がよいと思います。
- 人＜ 業者のCM等で所在地の番地を耳しますが道路名や特徴ある建物などで知らせる方法はどうか。
- 人＜ 地区（校区内）のニュース・話題の放送や農業（市内の畜産・園芸等）の管理や必要事項の指導などの放送があれば楽しくFMを聴く人が増えていくのではないのでしょうか。

- 人＜ 情報については生放送ではなく録音したものを流してもよいのではないのでしょうか。例えば小・中学生の出演した時間に家族が聴けないのでは？

- 人＜ イベント情報など途中から聞くことがあり、いつどこでしているのかわからないことがあるので、最後にもう一度いつどこで何をやるイベントなのかを言ってほしいです。